

平成20年度

ひょうごボランティア基金
助成事業報告書

ひょうごボランティアプラザ
(兵庫県社会福祉協議会)

平成21年12月

は し が き

ひょうごボランティアプラザでは、現在、ひょうごボランティア基金の運用益を原資として、NPO 法人またはそれに準じる団体を対象に 11 種類の助成メニューを実施している。これほど多彩な助成メニューに取り組んでいる助成基金は他に例が少ないと思われるが、NPO の活動分野が広汎で、大小さまざまな団体が事業を展開している状況からみて、助成メニューの多様化、細分化にはやむをえない面がある。

このメニューを、1事業あたりの助成額で仕分けすると、草の根的なボランティアグループを対象とする小口助成(1件あたり3万円以内)、NPO の立ち上げやキャパシティ・ビルディングなどを支援する中規模の助成(1 件あたり30万円以内)、さらに行政との協働助成、新たな事業へのチャレンジに対する助成、中間支援機能促進への助成など大口助成(1件あたり100万～200万円)に区分できる。このうち、小口助成以外はいわゆる競争的資金で、外部の専門家からなる選考委員会の議を経て交付を決定する仕組みである。

ところで、ひょうごボランティア基金の助成のキーポイントは、公益的な事業を実施する NPO の組織運営能力向上に着目していることであろう。発足当初は、この考え方は必ずしも浸透せず、申請団体から、こんなよい事業なのに理解が足りないと指摘されることも少なくなかった。

しかし、最近では、キャパシティ・ビルディングの重要性についての認識が深まり、一朝一夕でその効果が現れるものではないといえ、この助成制度を活用して団体としての基礎体力の向上に顕著な成果を収めた例も出てきている。

本報告書は、平成20年度の大口助成について、それぞれの団体から提出された活動報告を1冊にまとめたものである。助成事業の評価としては、受益者や協働の相手先などの声も聞く必要があるが、助成期間終了後、すぐに求めるのは性急に過ぎると考えられる。そこで、取りあえず事業団体からの報告を取りまとめて、関係者の忌憚のないご意見を仰ぐことにしたい。

最後になりましたが、関係者皆さんの熱意と努力に改めて感謝の意を表します。

平成21年12月

ひょうごボランティアプラザ
所長 小森 星児

目 次

I	ひょうごボランティア基金活動助成	1
II	平成20年度ひょうごボランティア基金助成事業概要	2
III	平成20年度助成事業 助成金交付団体等一覧	3
IV	平成20年度助成事業報告	
1	チャレンジ事業助成	
	第2年次	5
	第1年次	13
2	インターン助成	19
3	行政・NPO協働事業助成（NPO提案型 第3年次）	21
4	中間支援活動助成	33
5	企業・NPO協働奨励事業	47
V	平成20年度県民ボランティア活動助成金エントリー受理 及び交付決定一覧表	48
VI	ひょうごボランティア基金 過去の助成金交付実績 (平成14～19年度)	49

ひょうごボランティア基金活動助成

当基金による活動助成制度は、21世紀の成熟社会の重要な担い手であるボランティアグループ・団体、NPO等が行う多岐にわたる幅広い分野のボランティア活動の「自立性」と「継続性」を高めることを基本として、活動基盤の強化（キャパシティ・ビルディング）をめざし、県民ボランティア活動の促進を図ることを目的としています。

< 5 つ の 特 徴 >

- 1 助成総額が1億4千万円**
- 2 活動対象がNPO法の定める17分野**
- 3 活動段階に応じたメニュー設定**
- 4 申請(助成)団体にとって使い易い枠組み**
- 5 助成制度決定までのプロセスの共有**

「ひょうごボランティア基金」は、21世紀の成熟社会の重要な担い手であるボランティアグループ・団体、NPO等が行う福祉、環境、国際交流、芸術等幅広い分野の県民ボランティア活動の促進や、児童福祉施設入所児童及び交通遺児の激励など、地域福祉の向上を図ることを目的として、2002年4月に創設された基金です。

平成20年度 ひょうごボランティア基金助成事業概要

区 分		目 的	助成額 (予算額) 千円	申請状況・採択率
V G 支 援	県民ボランティア活動助成	福祉、まちづくり、文化・芸術、環境、地域安全、国際交流、子どもの健全育成等NPO法17分野のボランティア活動に助成し、団体の自立支援を促す。 上限 3万円(1/2助成)	99,300 (90,000)	エントリー件数 : 3,528件
	ボランティア活動支援拠点・NPO協働事業助成	地域のボランティア活動支援拠点とボランティアグループ・NPO法人等の連携・協働を支援し、地域課題の解決を図る。 1事業 30~90万円(10事業程度)	0 (2,500)	申請件数: 1件 採択件数: 0件
	学生ボランティア活動助成	学生ボランティア活動の理解と参加の促進を図る。 ① 学生を対象とした入門、体験事業 上限 5万円 ② ボランティアコーディネート、相談、情報発信、大学間等のネットワークづくりに係る事業 上限 10万円	150 (400)	申請件数: 3件 採択件数: 2件 倍率: 1.5倍
N P O 法 人 等 の 基 盤 強 化	立ち上げ支援助成	NPO法人等の立ち上げを支援し、NPO活動の促進を図る。 ① 事務所借り上げ ② 公共スペース活用 上限 30万円(1/2助成)	1,125 (2,100)	1年次 申請件数: 3件 採択件数: 2件 倍率: 1.5倍 (1件辞退)
	チャレンジ事業助成	地域課題の解決のための広域性の高い活動や斬新な活動の拡大、発展を図る。 ① 新規事業 上限 100万円 ② 既存事業 上限 50万円	7,000 (12,000)	1年次 申請件数: 6件 採択件数: 3件 倍率: 2倍
	NPOパワーアップ事業助成	NPOの活動基盤を強化する。(①ITによる情報公開②定期機関紙の発行③普及啓発事業④研修会等への参加⑤団体の体制整備のうち3項目達成必要) 15万円	1,350 (2,400)	9団体 (27項目)
	インターン助成	海外及び国内の先進事例、現状の調査研究を支援する。 海外:上限 30万円 国内:上限 15万円	150 (1,000)	申請件数: 1件 採択件数: 1件 倍率: 1倍
他 セ ク タ ー と の 協 働	行政・NPO協働事業助成(NPO提案型)	行政とNPOの協働推進のため、NPOの企画を事業化を支援する。 1年次(企画) 上限 30万円 2年次(事業計画) 上限 60万円 3年次(事業実施) 上限 100万円	10,964 (15,100)	1年次 申請件数: 6件 採択件数: 5件 倍率: 1.2倍
	行政・NPO協働事業助成(行政提案型) <テーマ・対象特定>	団塊の世代を対象とした行政からの提案について、NPOとの協働により実施する。 1事業 上限 50万円	2,000 (3,000)	申請件数: 6件 採択件数: 4件 倍率: 1.5倍
	企業・NPO協働奨励事業	企業とNPOの協働を奨励する。 30~50万円(5件以内)	800 (1,500)	申請件数: 3件 採択件数: 2件 倍率: 1.5倍
中 間 支 援	中間支援活動助成	中間支援機能を有するNPO法人が、相談、ネットワーク、情報提供等の中間支援機能を発揮して、県内のNPO法人等の組織運営や活動を支援する取り組みを支援する。 ① 中間支援活動の拡充 上限 100万円 ② インキュベート整備 上限 30万円(1/2助成)	7,000 (9,000)	申請件数: 7件 採択件数: 7件 倍率: 1倍
合 計			129,839 (139,000)	

平成20年度助成事業 助成金交付団体等一覧

(単位：千円)

□ ボランティア活動支援拠点・NPO協働事業助成

助成団体名 (ボランティア活動支援拠点協働先)	助成事業名	助成額
該当なし		0
申請件数 1件 採択件数 0件 倍率 倍		

□ 学生ボランティア活動助成

助成団体名	助成事業名	助成額
1 棚田 LOVER'S	棚田でのボランティア活動促進事業	100
2 神戸大学総合ボランティアセンター	学生ボランティアの推進と地域社会のニーズへの対応	50
合計		150
申請件数 3件 採択件数 2件 倍率 1.5倍		

□ 立ち上げ支援助成

3年次(18年度採択)

助成団体名	助成事業名	助成額
1 特知恵の和	事務所家賃助成	13
平成18年度(第1年次) 申請件数 5件 採択件数 5件 倍率 1.0倍	うち2件採択を辞退	
平成19年度(第2年次) 申請件数 3件 採択件数 3件 倍率 1.0倍		
平成20年度(第3年次) 申請件数 1件 採択件数 1件 倍率 1.0倍		

2年次(19年度採択)

助成団体名	助成事業名	助成額
1 特わだち	事務所家賃助成	212
2 特ピースヘルプ協会	事務所家賃助成	150
3 特いえしま	事務所家賃助成	150
4 特コミュニティ事業支援ネット	事務所家賃助成	150
5 特ウィズネイチャー	事務所家賃助成	150
合計		812
平成19年度(第1年次) 申請件数 7件 採択件数 6件 倍率 1.2倍		
平成20年度(第2年次) 申請件数 5件 採択件数 5件 倍率 1.0倍	(1件は2年次申請辞退)	

1年次(20年度採択)

助成団体名	助成事業名	助成額
1 特メリーポピンズの会	事務所家賃助成	300
申請件数 3件 採択件数 2件 (1件辞退) 倍率 1.5倍		

□ チャレンジ事業助成

2年次(19年度採択)

助成団体名	助成事業名	助成額
1 パソコン活用隊	地域貢献活動団体向けパソコン活用支援事業	1,000
2 特ふぉーらいふ	不登校・ひきこもりの青少年等の「食育」から始まる社会参加プログラム	1,000
3 特男女共同参画ネット尼崎	尼崎地域子育て支援キーステーション事業	1,000
4 特さんびいす	在宅ワークを柱とした、母親達へのリ・チャレンジ支援事業「ペルル」	1,000
合計		4,000
平成19年度(第1年次) 申請件数 8件 採択件数 5件 倍率 1.6倍		
平成20年度(第2年次) 申請件数 4件 採択件数 4件 倍率 1.0倍		

1年次(20年度採択)

助成団体名	助成事業名	助成額
1 特実用日本語教育推進協会	日本語を核とした新しい形の「国際交流サロン」事業	1,000
2 幼児サークル フルーツバスケット	兵庫県の地域限定の子育てSNSの構築事業	1,000
3 NPO法人 ベースボールスピリッツ	人も心も動く地域交流・人づくり事業	1,000
合計		3,000
申請件数 6件 採択件数 3件 倍率 2.0倍		

□ インターン助成

助成者の所属団体 役職	受入先	助成額
1 特但馬未来工房 事務局長	都市創造研究所	150
申請件数 1件 採択件数 1件 倍率 1.0倍		

□ 行政・NPO協働事業助成（NPO提案型）

3年次（18年度採択）

助成団体名	助成事業名	助成額
1 特 いちじま丹波太郎	学校給食への地元産農産物の供給と食育の推進	1,000
2 (NPO法人) ウィメンズネット・こうべ	デートDV防止出張授業開催事業	1,000
3 特 上野丘さつき家族会	神戸市北区淡河町に「ゾーン・タクシーの運行」を目指して!	1,000
4 特 生涯学習サポート兵庫	不登校・ひきこもり対象体験活動セミナー	1,000
5 特 発達障害児療育センターしらゆり	保育所における“発達障害児”への指導・療育を支援する事業	1,000
6 特 兵庫県技術士会	地域産業振興を目的とした、工業系の学校のインターンシップ支援のための情報提供事業	1,000
合 計		6,000
平成18年度（第1年次）	申請件数 17件	採択件数 7件 倍率 2.4倍
平成19年度（第2年次）		採択件数 6件 倍率 2.8倍
平成20年度（第3年次）		採択件数 7件 (⑩採1件) 倍率 2.8倍

2年次（19年度採択）

助成団体名	助成事業名	助成額
1 特 ひょうご地域防災サポート隊	地域コミュニティの防災力向上に関する事業	600
2 特 姫路市介護サービス第三者評価機構	姫路市・介護サービス改善協議会の設立と運営	600
3 特 びっぴ	NPO、認可外保育施設、行政の連携による発達支援ネットワーク（仮称）と地域における親子支援体制づくり事業	600
4 特 ブレーンヒューマニティー	地域課題解決のための学生による政策提言事業「ひょうご未来塾」	464
5 特 宝塚NPOセンター	兵庫県・わかもの就労支援ネットワーク構築事業	600
6 特 市民事務局かわにし	～NPOと行政で取り組む～ 川西市におけるNPO・市民活動団体の情報収集と発信のシステムづくり	600
合 計		3,464
平成19年度（第1年次）	申請件数 18件	採択件数 7件 倍率 2.6倍
平成20年度（第2年次）		採択件数 6件 倍率 3.0倍

1年次（20年度採択）

助成団体名	助成事業名	助成額
1 特 さんびいす	野外活動の配信システムを活用した流域連携ネットワークの強化と参画協働の促進	300
2 特 しゃらく	IT、中間支援機能を活用したニートのインターンシップ受け入れ事業	300
3 特 福祉市民ネット・川西	川西地域を「認知症の人も安心して暮らせるまちに!」運動	300
4 特 市民サポートセンター明石	通常学級内にいる特別なニーズがある子どもへの学習サポーター派遣事業	300
5 兵庫日本語ボランティアネットワーク	兵庫県内の企業等で働く外国人労働者およびその家族への日本語学習支援システムおよび生活支援システムの構築	300
合 計		1,500
申請件数 6件	採択件数 5件	倍率 1.2倍

□ 行政・NPO協働事業助成（行政提案型）

助成団体名	助成事業名 (行政協働先)	助成額
1 特 ネットワーク 太子の風	団塊世代等地域づくり活動きっかけづくり支援事業 (企画県民部県民文化局地域協働課)	500
2 特 阪神高齢者・障害者支援ネットワーク		500
3 特 シンフォニー		500
4 特 コムサロン21		500
合 計		2,000
申請件数 6件	採択件数 4件	倍率 1.5倍

□ 企業・NPO協働奨励事業

奨励団体名	奨励事業名	奨励額
1 特 コミュニティ・サポートセンター神戸	公文グループ企業とNPOとのネットワーク・コラボレーション展開による地域の高齢者を対象にした認知症予防事業	300
2 特 兵庫セルフセンター	リリー・ハンズ・&ハーツ・バザー	500
合 計		800
申請件数 3件	採択件数 2件	倍率 1.5倍

□ 中間支援活動助成

助成団体名	助成事業名	助成額
1 特 コミュニティ・サポートセンター神戸	NPO等の中期的な計画づくりに向けたアドバイザー活動（必須事業） その他の中間支援活動（選択事業）	1,000
2 特 コムサロン21		1,000
3 特 市民活動センター神戸		1,000
4 特 市民事務局かわにし		1,000
5 特 宝塚NPOセンター		1,000
6 特 シンフォニー		1,000
7 特 明石NPOセンター		1,000
合 計		7,000
申請件数 7件	採択件数 7件	倍率 1.0倍

合計	29,189
----	--------

地域貢献活動団体向けパソコン活用支援事業

パソコン活用隊

1. 団体概要

2007年1月に任意団体 パソコン活用隊を発足し、地域貢献活動団体向けのICT支援を開始。前職がIT業界に勤めていた若いメンバー3名（平均年齢30歳）を常勤スタッフとし、地域貢献活動団体が抱えている人材不足・資金不足の問題にICTを使った問題解決を目指す。

（特）宝塚NPOセンターをはじめ、（特）市民事務局かわにし、（特）場とつながりの研究センターの中間支援と連携をし、事務局作業の軽減を図るツールの開発・提供や、県への報告書や助成金申請書に必要なパソコンの基礎技術向上を目指した講座を開催。

2. 助成事業の概要

1年次に引き続き、中間支援組織である（特）宝塚NPOセンター、（特）市民事務局かわにしと連携し、以下のICTサービスを実施。

（ア）地域貢献活動向け、経費削減ツールの提供・導入支援

① 情報発信のICT活用による経費削減

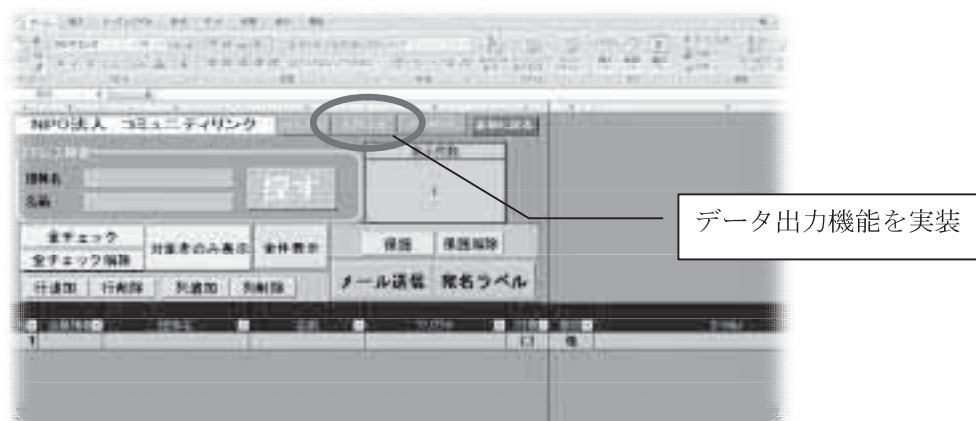
Word・Excel・Outlook Express で完結出来る会員管理・E-mail 情報発信・宛名ラベル出力が出来るツールの開発・提供。

1. 2年次には以下の開発を実施し、ツールをバージョンアップ。

（ア）会員データの出力機能追加。

（イ）office2007 対応。

（ウ）パソコンが苦手な人の為に、インストール説明動画作成。



平成20年4月～平成21年3月末までに6団体に対してツールの提供・導入支援を実施。

（イ）地域貢献活動団体向け、パソコン利用による業務支援講習事業

① 連携団体：（特）宝塚NPOセンター

実施講座：会員管理ツール講座、オリジナルブログ作成講座、パンフレット作成講座

開催数：11 講座 参加者数：30 名

② 連携団体：(特) 市民事務局かわにし、社会福祉法人川西市社会福祉協議会

実施講座：ブログ講座

開催数：9 講座 参加者数：44 名

3. 助成事業のアピールポイント・良かったこと・苦労したこと

(ア) 良かったこと

会員管理ツールを導入した団体から配食業務支援ツールの作成の依頼があった。

社会福祉法人川西市社会福祉協議会との繋がりが出来た。

(イ) 苦労したこと

Office2007 の普及により、急きょ対応が必要になったこと。



4. 助成金の活用状況（使途）

(ア) 会員管理ツール追加機能の開発費

(イ) 講座・経費削減ツールの営業費、広告宣伝費、専門家謝金

5. 今後の事業計画

(ア) 地域貢献活動団体向け、経費削減ツールの提供

会員管理ツールに関しては、2年間を通してある程度の導入実績が挙げられましたので、導入済み団体毎のフォローに力を入れていきます。

また、小規模介護事業では市販の請求書作成ソフトや給与計算ソフトは機能が多すぎて実務で利用しづらいという声と聞きます。開発・導入に向けて小規模介護事業所と協力体制を作って、小規模介護事業所のニーズに対応した請求書作成ツールや給与計算支援ツールの開発・導入に取り組んでいきます。

(イ) 地域貢献活動向け、パソコン利用による業務支援講習事業

実績を出したセミナー形式の「技能・資格取得セミナー」と少人数制の「パソコン実ゼミ」を軸として掲げ、中間支援組織との連携を広げる形で事業を推進して行きます。



代表 細谷 崇

〒665-0022

宝塚市野上 1-2-2 若葉荘 207 号室

TEL：0797-77-6006 FAX：0797-77-6006

活動 Blog：<http://www.hnpo.comsapo.net/pcdiary/>

不登校・ひきこもりの青少年等の「食育」から始まる社会参加プログラム

特定非営利活動法人 ふぉーらいふ

1. 団体概要

1997年10月、不登校・ひきこもりの子どもたちの「居場所」フリースクール ForLife を任意団体として立ち上げ、翌98年4月開校。2002年4月NPO法人化。

子ども等が安心して過ごせる居場所作りや、生活者の視点に立った体験学習や人・もの・文化との出会いを大切にする“子どもが主体”の教育を展開。併せて発達障害をもつ子どもたちの活動スペースを開設し、独自の学び方を持つ子どもたちのソーシャルスキルプログラムや学習支援に力を注いでいる。そのほか「親の会」の開催や相談業務、研修、講演会などを継続的に行い、地域に開かれた子育て支援の活動を行っている。

2. 助成事業の概要

不登校・引きこもり生徒を対象に農作業（土おこし/畝作りなど）を実施し野菜の栽培と収穫を行った。また採れた野菜を使っての調理実習や食育カルタの作成などを中心とした食育プログラムを実施した。

この食育プログラムを行う一方、ふれあいまちづくり協議会、子育てサポートグループや子どもに関わるNPOと青少年のサポートを行うためのネットワークを結んだ。

このほか、不登校・ひきこもりなどの子どもが社会貢献できる機会を得るため、地域社会での行事参加（物品販売）や商店街のバザールなどに参加する段取りを整えた。そして、食育カルタ等を利用したり、豆腐工場にての仕事体験（豆腐づくり）をしたり、物流センター見学などをとおして、子どもたちは農作業への取り組みを積極的に行い、今後収穫した作物をどのように受け手に届けるかも考えられるようになった。

3. 助成事業のアピールポイント・よかったこと・苦労したこと

■ アピールポイント

- ・地域の方とのふれあいが定着し、農作業から得られた副産物（野菜、人脈など）を紹介してのネットワークが広がった。
- ・「子どもが作るレシピ集」を発展させ、食育カルタが完成したことで、子どもに限らず幅広い層を対象に手軽な食育プログラムを実施できるようになった。

■ よかったこと

- ・ボランティアの人数が増え、畑における農作業を中心とした活動が活性化した。
- ・地域の中でおにぎりサロンなどを実施し、農作業に参加した子どもたちの自信につながった。
- ・参加者の子どもの中で働くことへの動機が高まり、アルバイトではあるが数名が仕事をして賃金を得るというステップに進むことが出来た。

■ 苦労したこと

- ・活動を続ける中でネットワークが広がり、協力してもらえる団体や個人は増えたが一般市民を巻き込んだ活動への発展が難しかった。

- ・農作業から収穫、調理に加え食育プログラムの実施と食に関する啓蒙活動まではこぎつけたが、加工食品の販売網を確保するまでにはいかなかった。

4. 助成金の活用状況

■ 仕事体験先謝金

尾崎食品にて自然食品などの良さ、加工食品の生産についてなどについて当法人の食育プログラムに必要なアドバイスなどをいただいた。

■ 講演会費用

不登校・ひきこもり・発達障害など当法人が支援の対象としている子どもたちに対する理解を求め、当法人の活動を支援していただくための講演会を開催した。

■ 農業体験費用

市民農園の賃借費用と、畑までの交通費や野菜の種、肥料など。畑で地域の方々との交流が図られたことはよかった。

■ おにぎりサロン・スタジオ使用料

おにぎりサロンを実施するにあたり必要な会場の手配を行い地域の方を招いての試食会などを実施した。

■ その他スタッフ人件費

食育カルタの製作をはじめ、食育プログラムを広めるための広報などを実施した。

5. 今後の事業計画

- ・一度に多量に収穫できたモロヘイヤを加工し、オリジナルパッケージで商品価値を訴える工夫をする（→天日干しによる栄養価のアップ度など）。
- ・支援会員の調理師による指導を得て料理のスキルを磨き、地域福祉センターに出向き、簡単な昼食を提供する（→ゆかりともろへいやのおにぎり、野菜たっぷりのとん汁、奈良漬等）。
- ・八千代の特産品店との連携を図り、メンバーが就労体験のできる場とする。オリジナル商品をならべ販売の拠点づくりをする。



おにぎりサロン準備の様子



参加者による農業体験の様子

団体代表者氏名 中林 和子

住所 〒655-0034 神戸市垂水区仲田 2 丁目 1-32

連絡先 Tel/Fax 078-706-6186 E-mail forlife@hi-net.zaq.ne.jp

ホームページ <http://www3.to/forlife>

尼崎地域子育て支援キーステーション事業

特定非営利活動法人 男女共同参画ネット尼崎

1 団体概要

平成15年6月設立、同年10月NPO法人格取得。「だれもが個として自立し、尊重される社会」「性別により、差別を受けることのない社会」「子どもの人権が尊重される社会」「市民参画と協働のまちづくり」を目指し、活動を続けてきました。平成16年7月より尼崎市女性センターの指定管理者として、事業実施、貸館業務を行っています。その他、法人自主講座の開催、相談事業、ニュースの発行などの活動をしています。

2 助成事業の概要

子育て家庭において、孤立した母親の子育ての困難さを軽減し、また働く母親の仕事との両立を支援し、親のみならず、子どもへの安全・安心とともに心豊かな時間を創り出すことを目的とし、一時保育・家事援助・協同保育・交流会・情報誌の発行を実施。

一時保育・「保育にすぐ役立つ！サポーターのための実践講座」開催

今年度も保育サポーターの講座を開催しました。

目的 ①保育についての知識や技術はもとより、子どもの個性を尊重し気持ちに寄り添いながら、子どもと関わる際の基本的視点と、欠くことのできないスキルを学び、保育現場に活かす。

②現登録保育サポーターの研修を兼ね、地域の中で子育て支援活動をおこなっている人、関心のある人に広報をして、新登録保育サポーターを募る。

H21年2月～3月 「保育にすぐ役立つ！サポーターのための実践講座」 全3回

●一時保育については、個人会員・グループ・NPO法人・そして当法人の主催事業での保育活動が総数40件以上あり、保育場所はキーステーション・依頼会員の指定場所・他で、のべ50人の登録サポーターが安全に活動しました。

協同保育 ポップコーン 開催

今年度の4月は5組からのスタート。子どもたちは、季節の行事・ミニ遠足・おもちゃ作り・運動あそび等を楽しみながら、友だちづくりや集団遊びのルール・マナーを体験。それぞれの個性をより伸ばして大きく成長した子どもたちは、この春、年間80回を無事に終え、元気に巣立っていきました。

H20年4月～H21年3月

毎週水・金 月8回（全80回）

上ノ島のびのび館2階

出前保育の実施

市内NPO法人から依頼を受け、H20年9月に尼崎商工会議所、H21年2月に西宮市市民交流センターに出向いて保育を行いました。



地域親子交流会 開催

子育ての楽しさと地域のつながりを感じる交流会を開催しました。親子・家族・サポーター・スタッフ等、総勢 77 人が参加し、おもちゃ作りを楽しみました。

H20 年 12 月

「おもちゃを作ってみんなであそぼ！」

尼崎市女性センターにて実施



子育て情報誌「あまこもジャーナル」 発行

尼崎市の子育てに関わる特集を組み、ていねいに取材をし、確かな情報をリアルタイムに届けることを大切に、年 6 回発行しました。地域の図書館・公共施設・小児科医院・歯科医院・つどいの広場・子育て支援施設等に配架依頼をしました。

H20 年 5 月～H21 年 3 月発行 (A4 版・4 ページ・カラー印刷・600 部)

3 助成事業のアピールポイント・良かったこと・困ったこと

- ・ 事業実施に当たって、この助成金を得ることができたので、養成講座の実施とサポーターの確保、協同保育などを実施、スタッフ経費も確保できました。
- ・ 協同保育ポップコーンの参加者からはいい評価をもらいましたが、人数が 5 組以上増えず、開催場所の変更、PR 等次年度の課題となりました。

4 助成金の活用状況

サポーターのための実践講座 (計 3 回)、地域親子交流会、子育て情報誌発行、スタッフ報酬等、事業実施の経費や人件費に活用しました。

5 今後の事業計画

- ・ 一時保育、家事援助・・・地域の中での出会いを大切に、一つひとつのていねいな活動等地道な努力を続け、活動を広げることにより、地域の子どもたちの安全・安心につなげていく。地域のニーズを把握して、きめ細やかな活動を広げていきます。
- ・ 協同保育・・・親育ち・子育ちにつながるカリキュラムをより一層充実させ、参加者の満足度を高める。親子が参加しやすい場所を考え、開催場所を変更する。また、ブログを開設して、PR に努め、参加者の増加につなげていきます。
- ・ 出前保育・・・利用規則を作り、活動が始まったが、さまざまなニーズに応じていくためによりいい方策を考えて進めていきます。

特定非営利活動法人男女共同参画ネット尼崎

理事長 加藤 道子

〒661-0033 尼崎市南武庫之荘 3-3-10-103 TEL/FAX 06-6435-3889

<http://sankakunet-amagasaki-npo.com/>

E-mail sankakunet3889@future.ocn.ne.jp